

令和6(2024)年度事業報告

■公益目的事業

◆助成顕彰事業（第16回）

「創造する伝統賞」の主催（定款 第4条 第1項 第2項）

2024年度助成顕彰事業として「創造する伝統賞」募集を行い、2024年8月30日に選考委員会を開催。2024年10月3日の理事会の決議を経て2名に授与した。

「第16回創造する伝統賞」 賞金各100万円

- 佐藤 静恵 41歳 ガラス造形作家
- Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble (ナオユキナベガガクアンサンブル) 令和2年9月団体設立

1. 対象

日本の伝統文化及び現代芸術の広い分野を対象とする。国籍不問。

2. 募集応募概況

発 送 先:美術館・博物館・新聞社・雑誌・大学・財団役員他関係者・文化藝術の会会員歴
代助成顕彰関係者・歴代奨学生・評論家・画廊・資料請求者 ほか

発 送 数: 1,256通

告 知: WEBサイト(ホームページ、SNS等)、会報、邦楽ジャーナル、美術の窓、
月間美術 ほか

応募総数: 26件(一般公募12件、推薦応募14件(内推薦委員推薦1件))

3. 選考委員会

開催日時: 2024年8月30日 13:00~14:00

開催場所: 京都芸術大学 望天館2F 会議室

出 席 者: 古山正雄委員長、池内務委員、大野木啓人委員、唐澤昌宏委員、倉方俊輔委員、
茂手木潔子委員

役 員: 北村誠常務理事(オブザーバー)

事 務 局: 事務局員3名

選考方法: 6月1日から6月30日にかけて募集。応募者は26名。一般公募が12名、推薦が14名、うち推薦委員による推薦1名。昨年よりも8名減少。事前に選考委員に全応募者の資料(申請書類、映像、音源、スキャンしてデータ化したポートフォリオ・書籍等資料)をオンラインで共有し、閲覧を依頼。各委員の事前審査により候補者を選出し事務局へ提出。集計結果をもとに選出のない応募者についても評価すべき対象者がなかったかを確認後、各委員から選出があった対象者を審議した。各委員から選出理由の説明を受けた。対象者全ての選出理由を確認後、審議。投票数の多い順に委員会で確認を行い、最終的に2名(1名と1団体)を受賞者とする事を全委員意義なく決定した。

4. 理事会の決議

2024年10月3日の理事会で、選考委員会より選出された2名への「創造する伝統賞」授与を決議した。

5. 授与式典の開催

開催日時: 2025年2月13日(木) 13:00~15:30

開催場所: 明治記念館(曙の間)

出 席 者: [受 賞 者] 佐藤 静恵、Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble
[助成顕彰選考委員] 古山正雄委員長、大野木啓人委員、唐澤昌宏委員、

池内務委員 茂手木潔子委員
 [奨学金選考委員] 椿昇委員、成田宏紀委員、杉浦幸子委員、
 三瀬夏之介委員
 [役員] 徳山豊理事長、北村誠常務理事、吉村七重理事、
 栗本徳子理事、津田恵子理事、吉木稔朗理事、
 室瀬和美理事、安孫子正評議員、脇田直枝評議員、
 野呂芙美子評議員、志村文衛監事、福本秀和監事、
 佐藤禎一相談役
 [来賓] 文化庁 圓入由美参事官

内容：理事長挨拶、来賓祝辞、創造する伝統賞選評、賞状・賞金目録の授与、日本文化藝術奨学金選評、奨学金証書・目録の授与、奨学生活動紹介、授賞者活動紹介、授賞者活動展示、奨学生活動展示

6. 賞金の授与

2025年2月 本人名義の口座に振込にて授与

7. 授賞者の紹介

リリースの発行（関係各所への発送および当財団WEBサイトで公開）
 授賞者紹介の小冊子を作成し関係者へ送付

◆育英事業

芸術系大学等に在学する学生及びその他の学生に対する奨学金の給付（定款 第4条 第3項）

2024年8月19日に育英事業選考委員会を開催し、2024年度育英事業「日本文化藝術奨学金」受給候補者として14名が選出。2024年10月3日の理事会の決議を経て、14名を奨学生として決定した。

「日本文化藝術奨学生」

| | | | | |
|--------|-----|----------|-------------|----------|
| 石黒 光 | 22歳 | 東北芸術工科大学 | 芸術工学研究科 | 芸術文化専攻 |
| 戸田 創史 | 22歳 | 東北芸術工科大学 | 大学院修士課程 | 芸術文化専攻 |
| 渋谷 和史 | 22歳 | 多摩美術大学 | 美術研究科 | デザイン専攻 |
| 野村 俊介 | 24歳 | 東京藝術大学 | 美術研究科 | 工芸専攻 |
| 山中 春海 | 33歳 | 東京藝術大学 | 映像研究科 | メディア映像専攻 |
| 劉 常民 | 28歳 | 東京藝術大学 | 大学院美術研究科 | 文化財保存専攻 |
| 角田 笑香 | 22歳 | 武蔵野美術大学 | 造形研究科 | 美術専攻 |
| 藤原 彩芽 | 23歳 | 武蔵野美術大学 | 造形研究科 | 美術専攻 |
| 矢部 もなみ | 23歳 | 武蔵野美術大学 | 造形研究科 | 美術専攻 |
| 鷺見 友佑 | 27歳 | 武蔵野美術大学 | 造形研究科 | 造形芸術専攻 |
| 衣笠 恭平 | 22歳 | 横浜国立大学 | 都市イノベーション学府 | 建築都市文化専攻 |
| 大谷 花 | 23歳 | 京都市立芸術大学 | 美術研究科 | 総合デザイン専攻 |
| 井上 直哉 | 26歳 | 広島市立大学 | 芸術学研究科 | 総合造形芸術専攻 |
| 喜納 祥子 | 28歳 | 沖縄県立芸術大学 | 造形芸術研究科 | 環境造形専攻 |

1. 2024年度育英事業「日本文化藝術奨学金」受給者の選考について

【対象者】次の条件を充たし、文化・芸術のあらゆる分野で将来にわたり活動が期待され、才能・可能性が認められる者

- (1) 国内の芸術系大学の大学院に就学しており、かつ次年度在籍予定者であること
- (2) 学業成績、生活態度共に優秀で、健康な学生であること
 - ※ 当奨学金は他の奨学金との重複受給をみとめる。ただし、現在受給または申請中の他の奨学金で重複受給をみとめていない場合は、受給することができない。
 - ※ 対象の大学は、国内の芸術系の大学・大学院で実技部門を設けている大学とする。ただし、音楽部門は除く。
 - ※ 別途定める指定校については、この限りではない。
 - ※ 休学中は申請できない。

【受給数】大学院生 14 名／奨学金 1 年間 50 万円の給付

【応募方法】オンライン申請

【申請書類等】①入力事項（基本情報、申請事由）

②申請時の添付提出資料（在学証明書、成績証明書、推薦書、活動資料）

2. 【募集および応募状況】

2024 年度応募要項・申請マニュアルの公開：2024 年 5 月 15 日

募集期間：2024 年 6 月 1 日～2024 年 6 月 15 日

発送先：日本国内の対象大学学生課・大学院・美術関係者、財団関係者等

発送総数：1,348 通（対象大学学生課・大学院には、チラシ 20 枚ずつ配布）

告知：WEB サイト（財団ホームページ、各種 SNS）、奨学金情報サイト「ガクシー」

応募状況：応募総数 69 名（昨年 65 名）

内（次年度在籍予定の無いことによる）選考対象外 4 名

応募状況の特記事項：地域ブロック別応募状況

東北 5 名（東北芸術工科大学）

関東 39 名

（東京芸術大学 12 名、武蔵野美術大学 10 名、多摩美術大学 6 名 他 6 名）

中部 8 名（愛知県立芸術大学 3 名 他 3 校）

関西 7 名（京都芸術大学 3 名 他 3 校）

中国 3 名（広島市立大学）

沖縄 3 名（沖縄県立芸術大学）

3. 選考委員会

日時：2024 年 8 月 19 日（火） 14：00～15：30

会場：東京・京都芸術大学 外苑キャンパス

出席者：寺脇研委員長、椿昇委員、近藤健一委員、杉浦幸子委員、

三瀬夏之介委員（オンライン）、

和田英彦事務長、事務局小崎祐衣、事務局鈴木苑子

欠席者：成田宏紀委員

【選考委員長の選任】

委員会に先立ち、選考委員の中より寺脇研委員を委員長として選任した。

【選考方法】

- ・事前に選考委員に全応募者の資料のデータを送付し、閲覧・候補者の選出を依頼した。
- ・財務状況からの判断により昨年の 13 名から 1 名増やし、奨学金受給者の候補者を 14 名選出することが、事務局より報告された。
- ・選考実施要綱で多数決で決めるとの基準に則り、各委員が事前審査した結果を一覧化し、選考対象者 65 名の資料を元に、各選考委員によりそれぞれ 13 名を事前選抜し、特に推したい人に◎（＝1.5 点）、それ以外に○（＝1.0 点）を付与し、各選考対象者に付与された

合計点数をあらかじめ算出。合計点数の高かった対象者から審議を行ない、上位 10 名を選出、残りの 4 人の選考については、2.0 点を取得している 9 名について議論が重ねられ、大学 1 校あたりの最大選考人数の 4 名枠や、分野的な偏りなどについて配慮しつつ議論が重ねられ多数決を経て全ての対象者を全員一致で決定した。

- ・10 月 3 日に開催される理事会にて審議を行い、最終決定されることが確認された。
- ・選考結果の発表は 11 月 1 日。それまで選考結果は口外しないよう事務局から要請した。
- ・選考結果の発表は 11 月 1 日に行った。(それまで選考結果は口外しないよう事務局から要請した。)

4. 授与式典の開催

開催日時：2025 年 2 月 13 日（木）

会場：明治記念館

※「創造する伝統賞」授賞式典との併催

出席者：[奨学生] 石黒 光、戸田 創史、渋谷 和史、野村 俊介、
山中 春海、劉 常民、角田 笑香、藤原 彩芽、
矢部 もなみ、鷺見 友佑、衣笠 恭平、大谷 花、
井上 直哉、喜納 祥子

[助成顕彰選考委員] 古山正雄委員長、大野木啓人委員、唐澤昌宏委員、
池内務委員 茂手木潔子委員

[奨学金選考委員] 椿昇委員、成田宏紀委員、杉浦幸子委員、
三瀬夏之介委員

[役員] 徳山豊理事長、北村誠常務理事、吉村七重理事、
栗本徳子理事、津田恵子理事、吉木稔朗理事、
室瀬和美理事、安孫子正評議員、脇田直枝評議員、
野呂芙美子評議員、志村文衛監事、福本秀和監事、
佐藤禎一相談役

[来賓] 文化庁 圓入由美参事官

5. 奨学金給付

2025 年 2 月 前期分として給付金の半額を本人名義口座に振込にて給付

2025 年 7 月 後期分として給付金の残金を本人名義口座に振込にて給付

◆助成事業

能登半島地震で罹災した輪島塗関連団体への助成金支給（定款 第 4 条 第 1 項 第 6 項）

2024 年 1 月 1 日に発生した「令和 6 年度能登半島地震」で多大な被害を受けた輪島塗を中心とした能登の伝統産業に対し、人材育成や次世代への継承に関わる活動を支援するために 1 団体につき 300 万円、合計 600 万円の助成を行った。

当財団ホームページで告知し募集を行った結果、下記 2 団体から応募があり、いずれも人材育成に資する活動であり、助成金の目的と合致するものと認め、助成金を支給した。

2 団体からは使途報告書及び証憑が提出された。

なお、文化芸術普及活動事業として当財団が開催した「創造する伝統 杜の中の文化祭」においても、参加者に対して、2 団体への任意の寄付を呼び掛けた。

石川県立輪島漆芸技術研修所

所長 小森 邦博

所在地 石川県輪島市釜屋谷町 1 字 30 番地

構成 職員 9 名、講師 47 名、在校生 19 名 計 75 名（申請当時）

使 途 研修所の授業を再開し運営するための材料、教材、備品等の購入

輪島漆器商工業協同組合（日本漆器協同組合連合会加盟）

理事長 日南 尚之

所在地 石川県輪島市河井町 24 部 55 番地

構 成 101 事業所（申請当時）

使 途 輪島塗職人の工房を再開するための補助

◆文化芸術普及活動事業

自主企画公演、展示・体験活動・セミナー・映画上映・演奏会等の文化祭の開催、ホームページでの情報発信、及び実施事業の記録（定款 第 4 条 第 4 項 第 5 項 第 6 項）

1. 「創造する伝統 杜の中の文化祭」

2024年11月9日(土)から2025年2月15日(土)にかけて、全5回で「京都学 inTokyo2024」を京都芸術大学とともに主催した。総来場者数は776名。概要は以下のとおり。

| 内容 | 日程 | 会場 | 出演 | 来場者数 |
|-----|-----------|---------------|-------------|------|
| 茶道 | 11月9日(土) | 明治神宮 | 千玄室 | 413名 |
| 華道 | 12月15日(日) | 京都芸術大学外苑キャンパス | 池坊専好、池坊専宗 | 111名 |
| 京舞 | 1月18日(土) | 明治記念館 | 井上八千代、井上安寿子 | 95名 |
| 京料理 | 2月1日(土) | 明治記念館 | 高橋英一、高橋義弘 | 107名 |
| 能楽 | 2月15日(土) | 明治記念館 | 金剛永謹、金剛龍謹 | 50名 |

2. WEBでの告知、情報公開等

- ・文化藝術の会入会案内、受付
- ・これまでの助成顕彰事業授賞者、奨学生の最新の活動情報の発信

ホームページ <http://jp-artsfdn.org>

Facebook <https://www.facebook.com/jparts.fdn>

Instagram <https://www.instagram.com/japanarts.fdn>

3. 文化藝術の会の運営

- ・賛助会員システム（WEB管理システム）の運用
- ・新規登録、継続登録の受付
- ・会報発行